

レイカ大津支部会報

かけはし

69号

令和2年6月発行

[発行] レイカディア大学同窓会大津支部

<http://lacadia-dousoukai.com/>

目次

2

支部長就任挨拶
(藤田新支部長)

3

特別寄稿
(奥田前支部長)

4

令和2年
支部・本部総会報告

5

部会だより

12

コロナ禍に伴うレイ大関行事変更について

13

特集:令和2年長寿慶祝者の皆様

14

会員投稿



令和2年大津支部総会光景

レイカ大津 高齢者事故撲滅スローガン(交通安全年間スローガン入賞作品)

思いやり ゆとりは無事故へ つづく道

大津支部長に就任して

支部長 藤田 順一（37 期 園芸・志賀）

奥田前支部長は、2 年間支部長として大変大きな功績を残されました。

①会員確保に向け、学生募集の先頭に立って努力されました。

大津支部は、同窓会本部の中で会員数の一番多い支部になりました。

②支部会計の安定化と健全化を目的に、助成金確保の取組に大変に努力されました。

助成金から、ボランティア活動保険料の確保と校庭美化活動の用具確保にも積極的に取り組みました。

③知名度向上プロジェクトを立ち上げられました。

知名度向上の観点から助成金を活用してビブスを確保され、地域に活動アピール出来るようになったのと、会員の活動中のモチベーション向上にも繋がりました。

④ゲームコンダクターの登録を進められ、びわ湖毎日マラソン等のスポーツボランティア活動を開始されました。

以上の4 点を特筆すべき功績として称えたいと思います。

令和2 年度新支部長の活動の思いは、第36 回支部総会議案書にありますように、

1) 会員の親睦・交流は、同窓会活動の一丁目一番地です。

例年在校生は、クラス仲間との親睦行事で充分楽しいとする方もいます。入会者を増やし退会者を防ぐためにも、大津支部ならではの楽しみ方を工夫して、アピールする余地はないか各部会と共に論議を深めてゆきたい。

2) 地域活動を通じて地域に貢献することは、レイ大卒業生の特徴であり、小学校支援活動を大切にして行くのと、まちなか活動を活発化させるためにも、大津社協、地域との連携を大切にして行きます。

3) 母校の発展に寄与する活動では、学生募集に積極的に取り組み、大津支部会員増加に結びつけたい。

支部活動は、新しい会員の活動から活発化していくものです。各地域ともに、新しい幹事を積極的に登用して、役員会を活発化させてほしいです。40 期、そして来春に入会者となる41 期の方を幹事に登用する工夫をお願いします。

新しい役員の任期は2 年間であります。2 年後の執行部は人心一新的な顔ぶれとなります。今から2 年後を見据えて活動をお願い致します。

支部長として2 年間努力していくことを表明すると、同窓会は会員各位の参加で成り立つものであり、会員の方々の各活動に積極的な参加を期待して、就任の挨拶とさせていただきます。



南郷小校庭美化活動

[特別寄稿]

少年老い易く学成り難し

前支部長 奥田 耕治 (33 期 園芸)

皆さんは勿論この漢詩をご存じでしょうが、最近、とみにこの詩が頭をよぎります。
少年でもないし、学成り難し、などという点では幼少の頃から諦めているし、どこの部分が気になるかという、馬鹿にするなど叱られるのを承知で先ずは全文を

少年老いやすく学なり難し

一寸の光陰軽んずべからず

未だ覚めず池塘春草の夢

階前の梧葉すでに秋声

偶成 朱熹
少年易老学難成
一寸光陰不可輕
未覺池塘春草夢
階前梧葉已秋聲

最後の句「階前の梧葉すでに秋声」の部分、今更語訳はしませんが、巷間、人生 100 年時代と言われて、齢 73 歳のいま、残り 27 年しかないと思うか、まだ 27 年もあると思うか。この末尾の句の意味が「まだ、何か出来るのではと夢みたいな事を考えているうちに、庭の青桐の葉はいつのまにかカサカサと枯れた音を出し、いまにも枝から切り離されて落ちていく」と妙に胸に刺さり問いかけてきます。

今、新たにこれからの残り僅かな人生を切り開いて行くことを決意している時に、なんとも言えない焦燥感と、僅かな光明と、大きな不安とが心中を交錯し、この句の重さに気付いています。早晩朽ち果てて土に戻るのに幾ばくも残されていないのに、あえて我が身に艱難辛苦の茨の道を科したのは、それなりの理由があるからに他なりません。それでも何とかなるだろうと楽観的に考えて、一般的には常軌を逸した道をとぼとぼと歩んでいきますが、これも、私の血筋に連綿と続いている認知症の発症の恐怖に対して、私なりの発症を遅らせるための最後の悪あがきかもしれません。

世間的にはいい年をして、常に新しいことにチャレンジして、あたかも馱馬が目の前ににんじんをぶら下げられて、届きもしないのに必死に追いかけている姿そのものですが、それでも走らねばと思い実行せざるを得ない忌まわしい性は、この歳になってもとうとう治りませんでした。

レイ大同窓会大津支部・本部総会報告

第 36 回総会大津支部

令和 2 年 4 月 9 日 (木) 13 時 20 分から滋賀県長寿社会福祉センター第 4 研修室で大津支部の総会が開催されました。26 名の新・旧執行役員と司会者・議長で総会を開始しました。

本年は新型コロナウイルスの全国的な蔓延により、公共施設の使用制限が出ており本会場も使用禁止延期の期間中でしたので少人数、短時間、密室にならぬよう扉・窓を全開放し、座席の間隔をあけ、マスクを着用し、入室時にはアルコール消毒をし、万全の予防対策を行っての実施となりました。

総会の出席者は、上記の 26 名のみで開催し、司会者：中川 幸子幹事 (37 期 地文・瀬田)、議長：永尾 正昭幹事 (34 期 地文・石山) のもとで議案審議を行いました。

第 1 号議案 2019 年度事業報告

第 2 号議案 2019 年度収支決算報告及び監査報告

第 3 号議案 会則の一部改正

第 4 号議案 役員の改選

第 5 号議案 2020 年度事業計画

(質疑) 関連先との連携強化について===親睦交流や活動の連携などを強化する。

第 6 号議案 2020 年度予算

(質疑) 5 部会予算要求の査定について===前年実績、今年度の申請内容で決定。

第 1 号議案～第 6 号議案まで全ての議案が可決承認され、議長が総会の終了を宣言。



総会光景



新執行役員の皆さん

令和 2 年度本部総会

令和 2 年度レイカディア大学同窓会定期総会は新型コロナウイルス感染拡大の影響で本部主催の開催は中止し、限定役員による文書での議案審議並びに議決に変更されました。

●議決日、役員、議案

・議決日 令和 2 年 4 月 22 日 (水)

・議決役員 正副会長、事務局長、会計、新旧常任理事、新旧 HP 管理班長、監事

・議決内容 第 1 号議案 平成 31 年 (令和元年) 度事業報告

第 2 号議案 平成 31 年 (令和元年) 度決算報告

第 3 号議案 役員改選

第 4 号議案 令和 2 年度事業計画

第 5 号議案 令和 2 年度予算計画

全ての議案は提案通り可決・承認されました。

(尚、慶祝者には各支部役員がお祝いの品を持参しました)

【部会便り】

「健康部会」

～たのしく なかよく 元気よく！～

令和2年度健康部会活動について

新型コロナ問題で健康部会として部会ミーティングも出来ない状況ですが、令和2年度の活動方針と当面のスケジュール予定を報告します。

コロナ問題の終息が見えたら具体的なスケジュール確定をしたいと考えています。

令和2年度活動方針

会員相互の親睦と健康増進を図るため、これまでの活動に新企画も検討し、他の支部や地域の方々との交流を図るなど、会員のニーズを常に把握しながら積極的に取り組みます。

当面の活動予定

9月初旬 第1回室内スポーツ大会（レイ大体育室）

9月下旬 第1回ディスコン大会（草津市）

＜今期から健康部会長は大口 正勝（36期 地文・堅田）が就任しました＞



2019年第1回グラウンドゴルフ大会参加の皆さん



2019年第1回ニュースポーツ大会参加の皆さん

「文化部会」

～趣味をふかめて たのしく学ぼう～

令和2年度文化部会活動について

新型コロナ問題で文化部会は4月の作品展、5月の市民陶芸体験講座を中止としました。

令和2年度の活動方針と当面のスケジュール予定を連絡します。コロナ問題の終息が見えたら、スケジュールを確定します。

令和2年度活動方針

生涯学習センターで開催する作品展示と市民陶芸体験講座の支援活動に加え、生涯学習推進フォーラムに積極的に参加し、他団体との交流に努めます。これらの活動を通じて学生募集のPR活動も行い、レイ大の応募者確保に継続的な貢献を行います。

当面の活動予定

7～9月 各サークル（マジック、パソコン、絵手紙、書道）との連携協議

10月16日（金） 市民陶芸体験講座（生涯学習センター）

＜今期から文化部会長は橋爪 一雄（35期 陶芸・瀬田南）が就任しました＞



2019年作品展風景



2019年市民陶芸体験講座

「研修部会」

～参加して 味わおう 知る楽しさを～

令和2年度研修部会活動について

令和2年度活動方針

教養と知識の向上のために、今年度も個人では行きにくい場所や施設の見学・研修や、学術的な講話、歴史探訪などを実施いたします。

当面の活動予定

8月～9月 再生可能エネルギーの話し合い

昨年家庭における省エネ・創エネに関するアンケートをレイカディア大学草津校・滋賀湖南地方を中心に実施し、400世帯から回答を頂きました。この結果報告と滋賀・大津の今後の課題検討をNPO法人おおつ環境フォーラム様にお願ひし、再生可能エネルギーについて話し合いを持ちたいと考えています。

10月 バスツアーまたは車で

滋賀の気象環境・大気環境について

(午前) 彦根地方気象台見学

(午後) 多賀町立あけぼのパーク多賀または麒麟ビール工場見学

<今期から研修部会長は中村 一馬(39期 びわ環・膳所)が就任しました>



2019年高浜原子力発電所見学



2019年小野から和邇の遺跡巡り

「地域活動部会」

～無理しない！ 出来る時に、出来ることを、出来る範囲で！～

令和2年度地域活動部会活動について

新型コロナ問題で4月以降の活動を中止しています。小学校も5月末まで休校になっており6月に入ってから学校訪問により活動内容を決定する予定です。

令和2年度の活動方針と当面のスケジュール予定を報告します。コロナ問題終息時にスケジュールを確定いたします。

令和2年度活動方針

小学校支援活動とまちなか支援活動を、二本柱として継続します。小学校校庭美化活動時に同窓会大津支部の横断幕を掲げ、ビブスを着用することで、知名度向上と存在感をアピールしていきます。そしてその校庭美化活動に近隣の地域住民の参加を呼びかけます。

当然のことながら活動中の安全確保には万全を期して参ります。作業前の始業ミーティングを確実に行之、使用器具の正しい取り扱いや危険個所の確認、危険防止策を徹底させます。

昨年からは開始した唐崎やよい作業所の陶芸支援は陶芸学科卒業生の新たな活動機会になっており、継続的な支援を行います。

スポーツゲームボランティアでは、滋賀レイクスターズと連携してゲームコンダクターの活動を行います。

＜今期から地域活動部会長は河嶋 文雄（35期 陶芸・南郷）が就任しました＞



小学校校庭美化活動



小学校花飾り作り活動



小学校図書整理活動



囲碁対局活動

唐崎やよい作業所での陶芸支援ボランティア

後藤 耕司（30 期 陶芸・堅田）

唐崎やよい作業所は精神障害者等の就労支援、自立支援施設で、通所者が様々な軽作業に取り組んでいます。その作業の一環で陶芸に取り組んでいるグループがあって様々な陶芸作品を作っています。出来上がった作品を販売して、通所者の賃金としている作業所もあります。

唐崎やよい作業所でも以前は陶芸の指導者がおられて、焼成までやっておられたようですが、職員に異動等もあってここ数年は焼成作業が全くなされず、焼かれない作品が棚を埋め尽くしている状況でした。

レイカディア大学にもボランティア募集のチラシを出されたようですが応募者もなく、大津市社会福祉協議会を通じて、大津支部にボランティアの要請があり、唐崎に近い比叡地域の陶芸学科卒業生を中心に6名ほどでボランティアをスタートすることになりました。

唐崎やよい作業所陶芸室の設備は揃っていますが、十分に活用されていない様子で、専任の担当がいれば立派な作品も焼くことができます。ただ設備は古くなっているので更新しなければなりません。

特に電気窯は平成5年製の代物で、マイコンがついていないため、全く手動で温度変化を監視するしかありません。まずその窯が正常に温度上昇するのか、業者にチェックしてもらうと一部能力の低下が見られるが使えるとの判断。そこで1度素焼き（約800℃）で窯の状態を見てから本焼成（1230℃）に取り組むことにしました。

以前の資料では13時間ほどの焼成時間がかかっていました。8時にスタートして20時過ぎまでかかることになります。窯のヒーターは上、中、下の3段、各々の強、弱の組み合わせですが、能力の低下もあって3段とも強、すなわち能力一杯にして温度上昇を待つしかありません。

1回目が20時過ぎまでかかったので次回から7時スタートにして19時過ぎの終了するようにしましたが、それでも職員もこの時間まで付き合ったもらうので、その後は6時スタートにしてもらい18時過ぎに焼成終了できるようになりました。

昨年末に大津市社会福祉協議会を通じて申請した助成金が3月末に採択が決まり、電気窯が更新されることになり、窯の大きさは少し小さくなりますが、マイコン付きで、夕方スイッチを入れれば翌朝には焼成は終了し、人手はかかりません。

これからは素焼き、撥水剤塗布、施釉、窯詰めで焼成のボランティアを続けていくことになります。そして出来上がった作品から立派なアール・ブリュットが生まれることが期待されます。



令和元年度 小学校支援活動実績(平成31年4月～令和2年3月)

地域	支援項目	小学校(幼稚園・児童クラブ含)名	回数	参加者数	内在校生	内協力者
比叡	校庭美化	小松小、木戸小、和邇小、小野小 真野北小、真野小、堅田小、仰木小、 仰木の里小、仰木の里東小、雄琴小 日吉台小、坂本小、唐崎小 真野北児童クラブ	34	226	7	1
	図書整理	仰木小	5	26	2	0
	校庭花づくり	和邇小、小野小、真野北小、真野小、 堅田小、仰木小、仰木の里小 仰木の里東小、雄琴小、日吉台小、 坂本小、下阪本小、唐崎小 堅田幼稚園	55	70	3	9
	手芸支援	仰木の里小	4	4	0	4
	パソコン支援	真野北小	6	6	0	0
	比叡地域合計		104	332	12	14
中央	校庭美化	逢坂小、長等小	4	42	2	0
	図書整理	平野小	15	69	1	0
	校庭花づくり	平野小	13	26	0	5
	中央地域合計		32	137	3	5
石山	校庭美化	青山小、南郷小、石山小、 南郷幼稚園	7	86	1	0
	昔遊び	南郷幼稚園	1	17	0	0
	石山地域合計		8	103	1	0
瀬田	校庭美化	瀬田小、瀬田南小、瀬田東小、 瀬田北小、 瀬田幼稚園、瀬田北幼稚園	20	147	0	1
	図書整理	瀬田南小	57	158	43	23
	校庭花づくり	瀬田東小	11	66	0	21
	縫製支援	瀬田東小	22	52	5	14
	瀬田地域合計		110	423	48	59
大津支部4地域合計			254	995	64	78

令和元年度 まちなか支援活動実績(平成31年4月～令和2年3月)

支援項目	回数	参加者数	内在校生	内協力者
スッキリ士隊活動(違法広告物剥ぎ取り)	3	18	0	0
境内美化活動(建部大社)	4	24	0	0
囲碁・将棋対局ボランティア	30	43	0	0
大津祭ボランティア	7ヶ所	20	1	4
瀬田川一斉掃除ボランティア	1	7	0	0
琵琶湖湖岸ヨシ刈活動	3	41	6	1
コスモアースコンシャスアクトin草津	1	17	0	0
スポーツゲームボランティア(レクサイト&毎日マラソン)	4	98	17	2
唐崎やよい作業所支援活動	14	55	1	0
大津支部合計	67	323	25	7

令和元年度 その他支援活動実績(平成31年4月～令和2年3月)

支援項目	回数	参加者数	内在校生	内協力者
平和堂42期学生募集要項店頭配布	4	36	0	1
イオン42期学生募集要項店頭配布	3	30	0	0
レイカディアの日地球市民の森整備活動支援	1	13	0	0
シルバー作品展監視員	5	10	0	0
大津支部合計	13	89	0	1

「広報部会」

～会員間の交流と情報交換・発信の広場～

令和2年度広報部会活動について

令和2年度活動方針

会報誌「かけはし」年4回の発行を行い、大津支部の事業全体・5部会活動・地域貢献活動・地域ミーティング情報の発信・個人投稿の掲載等を行います。

ホームページでのタイムリーな情報掲載と活用で閲覧者の増加を図ります。

「かけはし」68号 配布先明細

41期、42期大津市在住在校生、レイ大事務局、県庁関係、市町村振興会、市役所関係、教育委員会、市社協、同窓会本部、サポートの会、助成金支援団体、小学校長、その他予備等 小計 216部
会員配布 274部 合計 490部

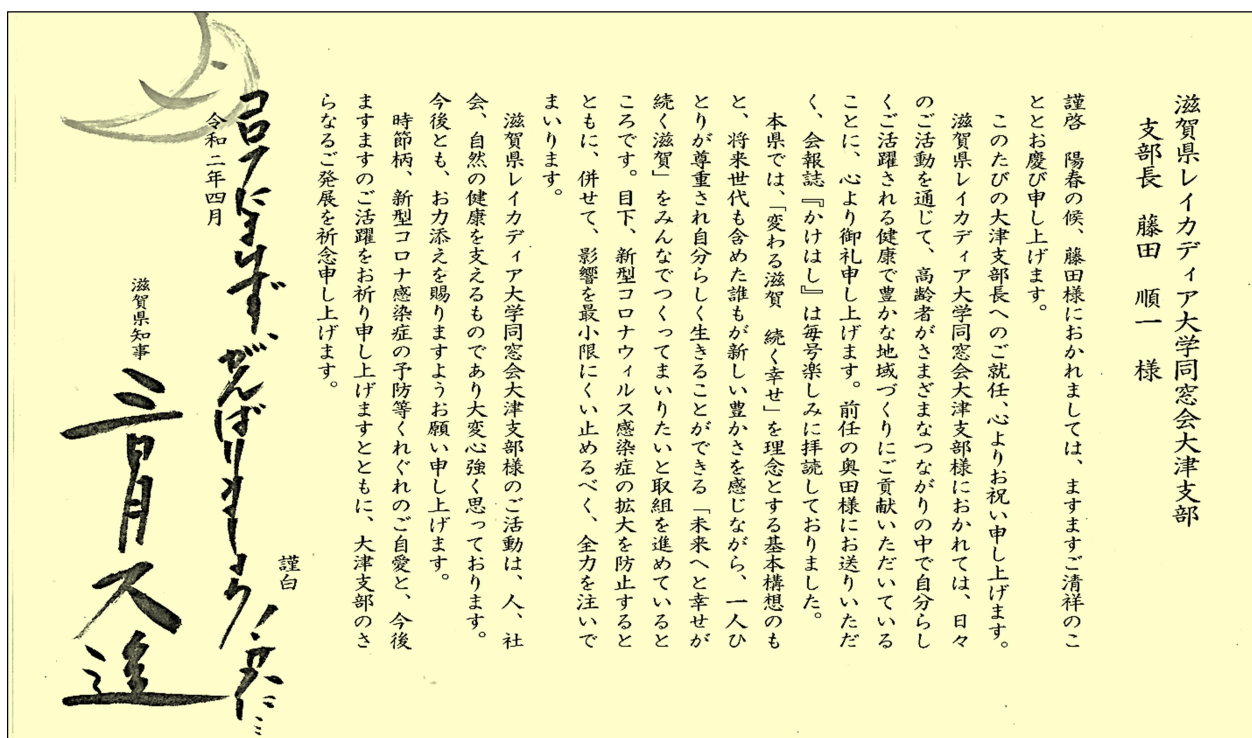
＜今期から広報部会長は住若 富子（34期 健レク・打出）が就任しました＞



「かけはし」製作光景

三日月知事からの挨拶状

「かけはし 68号」を県庁知事室に持参しました。この度、三日月知事より挨拶状が届きました。



コロナ禍に伴うレイ大関連行事変更について

●レイカディア大学長から以下の書面が同窓会に来ていますので、お知らせします。(抜粋)

1、臨時休校措置の延長について

国や県の方針をふまえつつ、現在の臨時休校措置を8月31日まで延長し、9月1日から授業等を再開。再開後は休校期間に相当する期間(6か月間)学習期間をスライドし、卒業・学年終了を令和3年3月とする。

また、今後の状況により、対応がさらに変更となることもあり得ますので、ご承知おきください。

2、休校期間延長に伴う対応

1) 再開後の履修計画は、再編成し7月末頃までに連絡します。

2) 学校行事についても未実施のものは実施する予定。詳細は、履修計画の変更と同時にお知らせします。

3) 臨時休校中は、各種活動・イベントなど、原則としてすべて中止します。

3、第43期学生募集の延期(予定)

次期学生募集は、現在学生の学習期間を繰延することに伴い、1年間延期する予定とします。これにより、次期学生の入学時期は、令和3年10月の予定となります。

【編集委員注】県広報誌「滋賀+1」5・6月号13ページに掲載されている第43期学生募集の記事は、上記3、の内容に改めてください。

【参考】

	R2年					R3年					R4年			
	3月	4月	8月	9月	10月	2月	3月	4月	8月	9月	10月	2月	3月	
41期生	臨時休校（6か月）			再開	（前期：1か月、後期：6か月）		卒業							
42期生				再開	（前期：1か月、後期：6か月）		進級	（前期）			（後期）			卒業
43期生					（見送り）	募集活動→					入学			

●第41期新入会員歓迎会&レイカ大津の集いなどの開催時期変更

上記レイ大の臨時休校措置により、今年10月に開催予定の「第41期新入会員歓迎会&レイカ大津の集い」は来年4月以降に開催を変更いたします。

また、大学祭は開催時期、内容とも未定です。7月末頃に判明する予定です。

●4～6月に中止になった行事・イベント

大津支部：2月23日 レイクサイドマラソン・ボランティア、3月6日 レイ大必修講座聴講、
4月16日～18日レイカ大津作品展、5月8日 市民陶芸体験講座、第1回執行役員会
(6月4日に延期開催)、第1回役員会(6月16日に延期開催)

サポートの会：5月15日レイカディアの日、6月11日シンポジウム「ともに生きる」



【特集】

令和2年度 長寿慶祝者の皆さま

大津支部には今年度長寿慶祝の方が2名いらっしゃいます。それぞれお元気でご活躍されておられます。コロナウイルス感染防止のため、電話でのインタビューを行いました。お二人ともレイ大入学は比較的最近で、レイ大入学の動機と長寿の秘訣等をお聞きました。

磯田 考潤さん (35期 園芸・瀬田)

磯田さんのレイ大入学はレイ大卒業生の会社後輩からの勧めもあり「何かしたい!」の思いから若いクラス仲間と有意義な時を過ごされました。瀬田地域では小学校の校庭美化活動に参加され、さらに近郊の介護施設での囲碁・将棋対局で積極的に活動され、最近では中央地域への出張応援でも活動されておられます。特に、囲碁はレイ大在学中に囲碁部に入部してマスターされたそうです。

歴史のご興味があり京都で開催するNHKの学習講座を受けて歴史の勉強を20年間継続されて来ておられます。

一日は3時半起床4時に朝食で始まり、そして夜7時就寝と毎日の散歩と規則正しい生活と合わせて、旺盛な向学心・前向きな活動姿勢を継続されておられます。磯田さんのお話を聞き、身体健康だけでなく、常に頭を使い、前向きの姿勢で精神的に充実した生活を送られていると強い印象を受けました。これらのことから、長生きをするための秘訣は怠惰なく日常生活を精神的にも肉体的にも自立して送ること、と教えられました。



中谷 浩治さん (37期 びわ湖・瀬田)

中谷さんは以前からレイ大の学生募集のことは町内の回覧等でご存じであり、入学を希望されておられました。地元瀬田でお生まれになり、会社勤めの関係で転勤を経験されましたが80歳での退職を機に、滋賀県の自然の理解と環境問題について勉強したいとの事で「びわこ環境学科」に進んで入学されました。

元々から理工学がご専門で、退職後は彦根の滋賀県立大学の一般公開講座で「デジタル・アナログに関する電気回路」を勉強されておられました。近郊にある各大学では理工学系の公開講座が極めて少なく、次は世間で注目されているビッグデータにご関心を持たれており、彦根の滋賀大学が提供する「データサイエンス入門講座」の受講を希望されておられます。

身体が資本であるが信念で、80歳過ぎた頃からは健康に対して関心を持つようになっておられ、毎日の食事には栄養のバランスを考えた食生活や運動等の生活習慣を心がけておられます。

インタビューを通して「勉強すること自体が大好き」という高い向学心をお持ちの方で、高齢になってもこれを生活の質とモチベーション向上の原動力とされておられることに、深く感銘を受けました。



[会員投稿]

支部活動に思うこと

釜淵 佳明（35期 びわ環・膳所）

大学卒業と同時に同窓会に入会して5年と半年が経ちました。その間、膳所地区の幹事や理事をやって地域活動や大津支部活動を見てきました。多くのことを見聞きし、思うこともたくさんありましたので、ここに書き出してみたいと思います。

○「地域活動」には・・・

入会当時、瀬田地域の活動が4地域の中でも突出しており、その数にも内容にも驚いたことを覚えています。地域内にある4つの小学校に隈無く入り、剪定作業（校庭美化作業）を行っていました。「できる人がたくさんいるんだなあ」と感心する一方、他の地域が瀬田ほど活発でない状況から「それだけかな」とも思いました。特に、我が中央地域の状況は見劣りがするもので「どうして？ どうして？」でした。

また、それ以降、他の地域も活動場所を増やして活発になってきましたし、中央地域も平野小学校で昔遊びを応援するなど、活動範囲は広がってきていますがまだまだの感です。しかし、背伸びはせず地域の会員が持っている力を集めてできる地域活動を、会員が積極的に参加しようと思う活動をやっていこうと思います。

○会議の時間が長すぎて・・・

月1回の役員会で報告事項・協議事項が終了し地域の話し合いに入る頃にはかなり疲れ、5部会の話し合いの頃はへとへとです。より身近な地域の活動の話し合いや、大事にしたい部会の話し合いが始まる前に疲れていては、実り多い話し合いになるとは思えません。もっと短くならないのでしょうか。せめて11時には地域の話し合いを始め、正午前には帰途に就こうじゃありませんか。

○懸念しています

ここ数年助成金の獲得が成功しそれを原資として購入した機器・器具が飛躍的に増えました。我々の活動を支える器具が充実してきたことはうれしいことですが、その保管の問題が店ざらしになっています。保管倉庫が無い以上、副支部長や部会長等の個人宅が保管場所になりますが、大きな負担になっているのでは。器具を増やすこと自体を考え直さなければならない時期ではないでしょうか。

○退会する人は・・・

退会する人の話を聞いていると「年齢的なもの」や「他の事で忙しい」等がありますが、役に就いたり、動員がかかることを理由に挙げる人がいます。必要なこととはいえ、負担が重荷なんです。永遠の課題ですが、弱いところにしわ寄せが行っては元も子もありません。何とかならないものでしょうか。

○ボランティア活動とは

レイカディア大学在学中に「できることを、できるときに、できる範囲内で、楽しくやるもの」であり、「人のためではなく、自分のためにするもの」と学んできました。これからもこの精神を忘れず、楽しさを求めて同窓会活動に臨んで行こうと思います。

ウルル山へ（2019年7月25～30日）

澤島 令子（33期 地文・晴嵐）

オーストラリアのエアーズロックが2019年10月25日から登れなくなると聞いて、友人と計画。

7月25日16:00 関空からシドニー経由ケアンズへ。26日、ケアンズは南半球、冬なのだ！とはいえ、ここは北半球ではフィリピンのマニラとほぼ同じ緯度、皆昼間は半袖で過ごしている。きれいな近代的な町だった。

27日6:20 ケアンズ発。8:45 エアーズロックの空港着。エアーズロックでは環境保護のために、エアーズロックリゾートと言われる地域の中にホテル、ショップ、シアターなどすべてを網羅。その中を無料のシャトルバスが巡回。サンセットを見る。山全体が見えるところで、おつまみ、ワイン、ジュースなどが用意、それらを楽しみながら、ゆっくりと日が沈み、刻々と表情を変えるエアーズロックを眺める。エアーズロックの大きさは、周囲9.4km、高さ346m（海拔863m）、6～9億年前は内陸海で、5億5000万年前に地殻変動によって地上へと隆起、数度の地殻変動によって700万年ほど前に今の形に。先住民のアボリジニにとって聖地で、彼らは決して登らず、いろいろな場所に彼らの歴史的に大切な意味を持つ場所があるので、そこでは決して写真を撮らないようにとの注意を受ける。彼らにとってウルル山が正式名称だそうだ。

28日早朝、昨夕とは反対側でサンライズ。ここでは温かい飲み物などが用意されていた。いよいよ登山口へ。年間70%ほどの日数が強風のため、先住民の祭のため、その他で登れないそうだ。バスの窓から稜線の上に登る人がシルエットのように見えた。ロッククライミングで大変危険な登山であり、今までに亡くなった人が34人、その中に3人の日本人が・・・と言うことを聞かされる。8:30 登り始める。まさにロッククライミング。這ってでなければ登れない。鎖があり、それにつかまってようやく身体を持ち上げる。時々座り込んで休むもずり落ちそう。大平原というか大砂漠のなかにポツンとあるせいか、風がものすごく強い。5分登って、10分休むような感じ。やっと鎖場が終わってやれやれと思ったが、その先も道は細くて落ちそうで、ここであきらめた。一応山には足跡は残したし。頂上まで行った友人は、それからの登山も下から上がったのと同じくらい、山あり、谷(?)ありできつかったそうだ。鎖を伝って、後ろ向きに降りる。無い所では四つん這いの反対の格好で。でもお尻をつけてズボンが破れると困るので腰は浮かして。おかげで、その後数日腕がだるかった。なんとか降りてきてバス停へ。丁度、麓めぐりの時間だったのでバスに乗り込み洞窟へ。再び登山口へ。頂上まで登った人達を迎えてホテルへ。昼食後、飛行場へ。14:15 発、上空からウルル山を見る。17:45 シドニー着。友人がオーギービーフを食べたいと、レストランよりお手頃なパブを教えてもらう。久しぶりにちゃんとした食事ができた。



28日早朝、昨夕とは反対側でサンライズ。ここでは温かい飲み物などが用意されていた。いよいよ登山口へ。年間70%ほどの日数が強風のため、先住民の祭のため、その他で登れないそうだ。バスの窓から稜線の上に登る人がシルエットのように見えた。ロッククライミングで大変危険な登山であり、今までに亡くなった人が34人、その中に3人の日本人が・・・と言うことを聞かされる。8:30 登り始める。まさにロッククライミング。這ってでなければ登れない。鎖があり、それにつかまってようやく身体を持ち上げる。時々座り込んで休むもずり落ちそう。大平原というか大砂漠のなかにポツンとあるせいか、風がものすごく強い。5分登って、10分休むような感じ。やっと鎖場が終わってやれやれと思ったが、その先も道は細くて落ちそうで、ここであきらめた。一応山には足跡は残したし。頂上まで行った友人は、それからの登山も下から上がったのと同じくらい、山あり、谷(?)ありできつかったそうだ。鎖を伝って、後ろ向きに降りる。無い所では四つん這いの反対の格好で。でもお尻をつけてズボンが破れると困るので腰は浮かして。おかげで、その後数日腕がだるかった。なんとか降りてきてバス停へ。丁度、麓めぐりの時間だったのでバスに乗り込み洞窟へ。再び登山口へ。頂上まで登った人達を迎えてホテルへ。昼食後、飛行場へ。14:15 発、上空からウルル山を見る。17:45 シドニー着。友人がオーギービーフを食べたいと、レストランよりお手頃なパブを教えてもらう。久しぶりにちゃんとした食事ができた。

29日、オペラハウスを目指す。入口がわからず、隣のレストランの建物から入ってしまったようだ。日本語ガイドのグループに入り、いろいろと説明を受ける。雨で汚れを落とせるようにタイルを2度焼成、白色ばかりではまぶしいのでベージュ色も混ぜたとか。中では子供たちの練習も見ることができた。その後、動物園でコアラを見て、フィッシャーマンズ・マーケットで海の幸でお腹一杯。夜の飛行機で羽田へ。

10月25日、テレビでウルル山が登山禁止になったとか。行ったもんね！！

生きがいのある楽しい老後を

堀口 唯子 (26 期 生活・日吉)

〇はじめに

高齢化社会にあって、私達はいかにして健康で楽しい生活を送れるかが問われている昨今です。もうずいぶん時間が経ちましたが、レイカディア大学の教養講座を受講していた際、大塩まゆみ先生の「生きがいある生涯」の講義を思い出し、当時の講義メモを押し入れから探し出し、その内容を振り返ってみました。講義ノートによると、ピアノを弾くのが当時の先生の生きがいとのこと、音楽があった方がますます生きがいが深まるのではないかと提唱され、私自身の生き方に共感するところがあり、また先生のピアノを弾きながらの熱気あふれる講義には大変感動したことを思い出しました。以下に当時の講義を振り返り、これからの生きがいについて考えてみたいと思います。

〇音楽の思わぬ効果

演奏をするときは楽譜を見る、身体・指先を動かす等の動作の過程で、相当複雑な指令が脳から出ています。同時に二つ以上の動作を常に行うのだから身体や頭に強い刺激を与え、その結果身体のあちこちが活性化されると思われています。認知症の予防や治療のひとつとして音楽演奏が大きくクローズアップされているのもそのような理由からでしょう。

〇生きがいはころがっている (人生は実験)

趣味とか目的が見つかる人は良いが、なかなか見つからない人もいます。しかし見つからない人でも、とにかく何かやっているうちに「犬も歩けば棒に当たる」の例えのように生きがいを見つける人もあるのではないのでしょうか。先生は何か授業で音楽を取り入れ、活かすことが出来ないかと考え、音楽療法学会に飛び込まれました。すると講師がベートーベンに関する講演をされたそうです。ベートーベンのことはある程度理解されていたようですが、彼の生い立ちとかその当時の環境などは初めて聞くことが多かった。何気なく立ち寄った講演会ではあったが、先生の生きがいの一つとして、ベートーベン研究が始まったのでした。

〇ピアノの次はベートーベン研究

ベートーベンの研究をされているうちに、色々なことが分かりました。若い時から音楽界のスターであったが、20 歳台後半から耳が聞こえなくなって一時は自ら命を断とうと真剣に考え、弟達に遺書を書いて残そうとしたが、自分自身の中で激しい自問自答を行った結果、自分にはやり残したことがある、まだまだ死ねないという強い信念が湧いてきたそうです。芸術家になること、その芸術を極めることが天命であるということが自己の運命であることを、命を絶とうとしたことで悟ったわけです。その後不自由な病に打ち勝って、偉大な作曲家として名を残しました。ベートーベン研究の書物を読みながら、彼の名曲を聴くというのも、先生の生きがいの一つだそうです。

若い方でも障害をもちながら、これを補い又これを超える他の能力が発揮できている方がたくさんおられます。このようなことは、高齢期を生きる我々にとって福音ではないのでしょうか。歳をとれば誰でも耳が聞こえにくくなる、体も弱くなる、それは災いだけではなくて、思いによってはこれまでの人生に無かった良いことももたらしてくれるのではないかと。そのように考えると、老後も少しは光が見えてくるのではないのでしょうか。

〇あとがき

人生 100 年時代といわれる今日この頃、元気で明るく、楽しい毎日を過ごしたいものをつくづく思います。これから何ができるか、何をやりたいか、と日々考えています。現在は、60 歳で始めたピアノを生活のリズムの中に入れ、生きがいとしてピアノを弾くのが楽しい毎日です。ピアノの上達はひとつの目的ですが、ほかにも目的を持てる生きがいを生涯探し続けていこうと思います。

「会員文芸」

俳句

(二九期 文芸)

兼題「春愁」「うぐいす」「当季雑詠」
*コロナウィルスの関係で在宅句会

瀬田 大坪石山

鶯や人無き里を独り占め

白昼のゴーストタウン夏さぞす

比叡岡田一也

春愁の陸を離れて浮御堂

もの言わぬ影に添はるる春灯し

石山 久保貞邦

人影の消えし都や春愁

コロナ禍はどこ吹く風の花水木

瀬田 勝田幸川

春愁を払ひてくぐる縄のれん

うぐいすのケキヨで躓く谷渡り

鶴飼敏彦(二七期 文芸・平野)

町しずかコロナ恐れて怯む如し

「路傍の石」耐えて米寿や菖蒲の湯

縄文の森囁くや新樹

冷泉の当主和歌説く蟬丸祭

レマン湖にヨット数百帆走す

[会員動向]

会員数

大津支部会員数 (5月31日現在) 252名

大津支部事務局からのお知らせ

新型コロナウイルス感染の拡大が進む中、支部総会は感染予防対策を講じながら、最少人数で開催致しました。その後、感染爆発の危機感から緊急事態宣言が全国に拡大され、外出自粛のほか、公共施設の貸館停止の措置があったため、第1回執行役員会、第1回役員会は中止とさせて頂きました。その他の中止行事は12頁に記載しております。

大津支部として、皆様の健康・安全を確保し、感染拡大防止を優先して活動を再開したいと思っておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。7月以降の予定は以下の通りです。

7月の執行役員会及び役員会の開催はありません。

8月 7日(金) 執行役員会 生涯学習センター 9時30分～

8月28日(金) 役員会 生涯学習センター 9時30分～

9月11日(金) 執行役員会 生涯学習センター 9時30分～

9月24日(木) 役員会 生涯学習センター 9時30分～

広報部会からのお知らせ

会報誌「かけはし」は年4回発行しており、今回は令和2年9月下旬に発行の予定です。

原稿締め切りは8月28日厳守です。投稿の要領は従来の通りです。尚、70号には会員投稿の掲載はありません。内容は支部全体の活動、各部の活動報告と活動予定、各地域の活動を中心に編集します。投稿の要領はパソコンで作成される場合は、用紙はA4、本文の字体や大きさは、MS明朝体・12ポイント、表題の文字の大きさは14～16ポイントと指定しています。

原稿の文字数は1,200文字以内を厳守下さい。

表題の下部に氏名(期生、学科・地区名)を記入下さい。また、写真などがあれば是非添付して下さい。写真の返却を希望される方は、その旨を写真裏面にご記入下さい。

《原稿送付先》 自筆・ワープロ打ち原稿は郵送またはFAXで

〒520-0043 大津市中央4丁目1-11

住 若 富 子 宛 TEL・FAX 077-525-7398

PCメールは 佐 瀬 章 男 宛 sase@opal.plala.or.jp

中 村 健 一 郎 宛 knakamura4097@gmail.com

[編集後記]

6月号から新体制での発行となりましたが、新型コロナウイルス感染防止対策で「かけはし」発行に際し、構成から編集会議にかけて活動の制限が生じ、困惑いたしました。編集委員の方々のご協力の下、ネットミーティング及びEメールを有効に活用して、編集内容検討や記事の校正などを行って、対処してきました。

特に、今回は多数の未熟者を抱えた新体制下での発行となり、長年携わって来られた松岡委員のご指導を得ながら、無事発行の運びとなり、会員各位にお届けすることが出来ました。

編集委員

岩田 和彦・藤田 順一(以上、志賀) 福井 かおる(唐崎) 和田 紀久子(日吉) 清水 初美(皇子山)

大塚 庸行・住若 富子(以上、打出) 松岡 克実(晴嵐) 脇田 進・遠藤 修一・河野 安明(以上、南郷)

佐瀬 章男(瀬田北) 中村 登(瀬田) 中村 健一郎・河村 良一(以上、瀬田月輪)

レイカディア大学同窓会 大津支部会報 69号(令和2年6月16日発行)

発行責任者 大津支部長 藤田 順一

編集責任者 広報部会長 住若 富子



* 投稿・応募・申込み等の個人情報について

レイカディア大学同窓会大津支部宛の投稿・応募・申込み等(電子媒体含む。以下原稿と言う)で得た個人情報は事前説明無く、当該投稿等に関する用途以外に使用せず、適宜、適切に破棄します。投稿内容及び氏名、年齢、生年、地域・地区、卒期・学科名は当会発行媒体に掲載することがあります。